

No.143

令和8年
3月定例会
2026

みよた 議会 だより



ね つぼみ
コカリナの音と共に蕾が花へ



主な内容

- 当初予算 …………… P2~5
- 一般質問 …………… P12~21
- 視察・研修報告 …………… P22~23



議会では当初予算を

可決

しました

一般会計

定例会は、2月27日に召集されました。
13日間の会期を終え、3月13日に閉会となりました。



令和8年2月27日上程

一般会計は、令和7年度比較で3億2,165万円増

一般会計 予算額

総額

98億6,353万円



町民1人あたり
58万3千円

※令和8年4月1日現在の
人口16,918人で算出

歳入では町債 9億3,900万円を借入

※町債とは・・・

町民のみなさんが、幅広く利用できる福祉施設の建設や道路の新設・整備など、多額の資金が必要となる事業の財源を確保するため、県知事の同意を得て国や銀行などから借りる資金です。今後、数年で返済していきます。

町債の中には、交付税措置されるものもあり、のちに国から補填されるものもあります。

歳出での返済額は (今までの借入の返済)

5億2,800万円

令和8年度末の町債残高見込みは 59億830万円

みよた議会だより142号で各会計の説明を記載しています。

特別会計予算

国民健康保険事業勘定特別会計	16億6,738万円
介護保険事業勘定特別会計	13億50万円
後期高齢者医療特別会計	2億9,423万円
御代田財産区特別会計	807万円
小沼地区財産管理特別会計	2,914万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	101万円

公営企業会計予算

御代田小沼水道事業会計

収益的

収入 2億1,084万円
支出 2億2,143万円

資本的

収入 3,525万円
支出 1億2,643万円

御代田町下水道事業会計

収益的

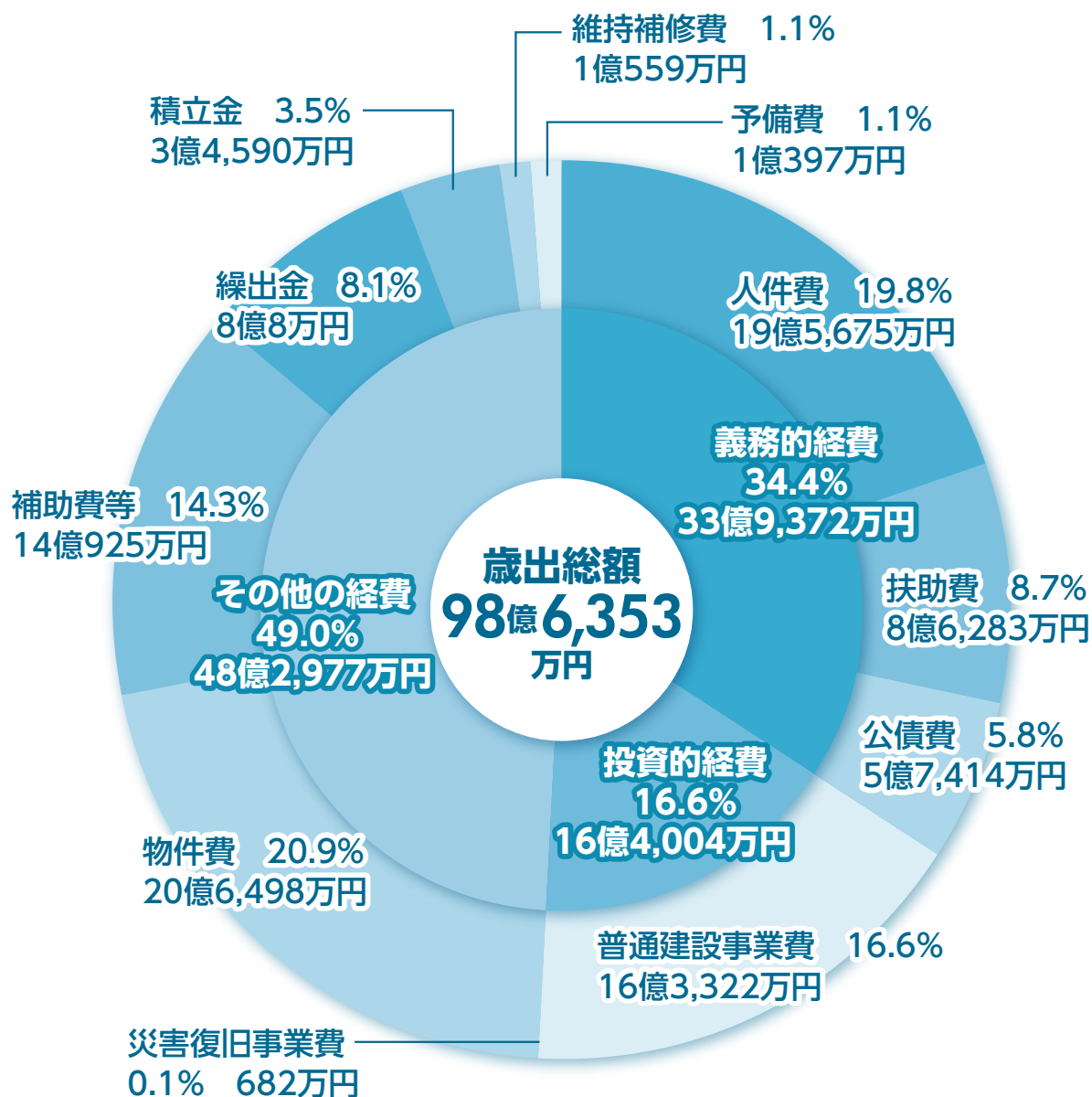
収入 8億597万円
支出 6億2,819万円

資本的

収入 4億4,955万円
支出 6億8,486万円

一般会計歳出（使うお金）グラフ

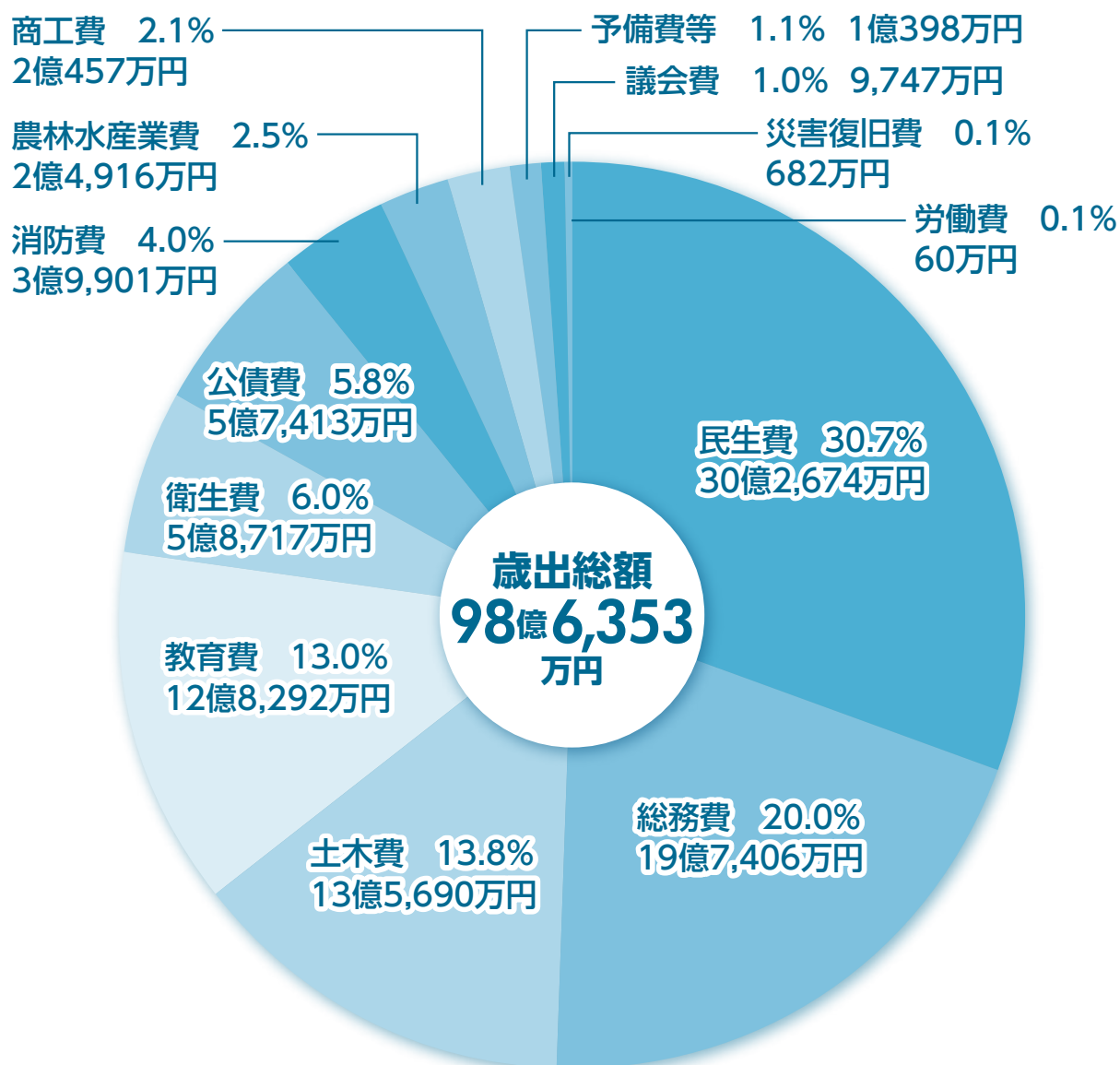
歳出を**経費の性質**に着目し分類



年間予算、どう計画したの？



歳出をサービスの目的で分類



※端数処理の都合上、構成比が100%とならない場合があります。



歳入 — 自主財源と依存財源があります —

歳入合計 **98億6,353万3千円**

(単位：千円)

自主財源	町 税	町民税	1,272,607	2,893,099
		固定資産税	1,299,856	
		軽自動車税	70,012	
		町たばこ税	110,064	
		都市計画税	137,788	
		入湯税	2,772	
	使用料	使用料	77,041	87,781
	手数料	手数料	10,740	
	寄付金	寄付金	653,307	653,307
	財産収入	財産運用収入	57,298	57,304
		財産売払収入	6	
	繰入金	基金繰入金	666,203	667,083
		他会計繰入金	880	
	繰越金	繰越金	150,000	150,000
	諸収入	延滞金、加算金及び過料	2,031	151,520
		町預金利子	1,323	
貸付金元利収入		26,222		
雑 入		121,944		
			4,660,094	

(単位：千円)

依存財源	地方譲与税	地方揮発油譲与税	15,058	73,809
		自動車重量譲与税	52,500	
		森林環境譲与税	6,251	
	国庫支出金	国庫負担金	750,453	1,173,592
		国庫補助金	419,608	
		委託金	3,531	
	県支出金	県負担金	307,374	667,790
		県補助金	314,528	
		委託金	45,888	
	利子割交付金	利子割交付金	1,000	1,000
	配当割交付金	配当割交付金	17,819	17,819
	株式等譲渡所得割交付金	株式等譲渡所得割交付金	23,127	23,127
	法人事業税交付金	法人事業税交付金	32,100	32,100
	地方消費税交付金	地方消費税交付金	420,247	420,247
	ゴルフ場利用税交付金	ゴルフ場利用税交付金	20,000	20,000
	環境性能割交付金	環境性能割交付金	8,448	8,448
	地方特例交付金	地方特例交付金	28,629	29,023
		感染症対策地方税減収補填交付金	394	
	地方交付税	地方交付税	1,735,733	1,735,733
	交通安全対策特別交付金	交通安全対策特別交付金	1,300	1,300
分担金及び負担金	負担金	59,551	59,551	
町 債	町 債	939,900	939,900	
			5,203,439	

条例の改正		
議案	御代田町表彰条例の一部を改正する条例案	可決
議案	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	可決
議案	御代田町営駐車場条例の一部を改正する条例案	可決
議案	御代田町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案	可決
議案	御代田町消防団詰所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案	御代田町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案	御代田町宿泊税交付金基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定案	可決
議案	御代田町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定案	可決
予算		
詳細は2～6及び8～10ページをご覧ください		
議案	令和8年度御代田町一般会計予算案	可決
議案	令和8年度御代田財産区特別会計予算案	可決
議案	令和8年度小沼地区財産管理特別会計予算案	可決
議案	令和8年度御代田町国民健康保険事業勘定特別会計予算案	可決
議案	令和8年度御代田町介護保険事業勘定特別会計予算案	可決
議案	令和8年度御代田町後期高齢者医療特別会計予算案	可決
議案	令和8年度御代田町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算案	可決
議案	令和8年度御代田小沼水道事業会計予算案	可決
議案	令和8年度御代田町下水道事業会計予算案	可決
議案	令和7年度御代田町一般会計補正予算案（第9号）	可決
議案	令和7年度小沼地区財産管理特別会計補正予算案（第2号）	可決
議案	令和7年度御代田町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算案（第4号）	可決
議案	令和7年度御代田町介護保険事業勘定特別会計補正予算案（第5号）	可決
議案	令和7年度御代田小沼水道事業会計補正予算案（第5号）	可決
人事		
詳細は11ページをご覧ください。		
議案	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	適任と意見
契約		
議案	しなの鉄道線御代田・平原間源平橋補修工事委託に係る施行協定の変更	可決
その他		
議案	御代田町コミュニティセンターの指定管理者の指定	可決
議案	御代田町地域福祉センターの指定管理者の指定	可決
議案	御代田町消防団詰所の指定管理者の指定	可決
議案	御代田町農村研修施設の指定管理者の指定	可決
議案	御代田町農家高齢者創作活動施設の指定管理者の指定	可決
議案	町道の路線認定	可決
報告		
報告	専決処分事項の報告（町道長坂2号線における車両損傷事故に係る損害賠償）	—
報告	専決処分事項の報告（龍神の杜公園における身体事故に係る損害賠償）	—
報告	令和7年度御代田町土地開発公社第3回補正予算の報告	—
報告	令和8年度御代田町土地開発公社事業計画及び予算の報告	—

歳出

新社会体育館 建設計画

1億395
万円

新社会体育施設測量設計委託料

B&G 海洋センター敷地内に建設を予定する新社会体育施設について、測量および基本設計・実施設計をおこなうための委託料である。



問

新社会体育施設測量設計委託料1億395万円の内訳は。

答

内訳は、基本設計・実施設計が8,800万円、用地測量が935万円、基準点測量・現地測量・路線測量が660万円である。

問

設計にあたって想定している体育館の規模と建築工事費、今後の整備計画はどのようになっているのか。

答

新社会体育施設の規模は、延べ床面積約3,000平方メートルを想定しており、建築工事費は約21億円を見込んでいる。

今後は、繰り越した基本計画を令和8年5月中に完成させ、令和8年度内に基本設計・実施設計を完了させたい。

令和9年度に造成工事、令和10年度に本体工事に着工し、令和11年7月頃の供用開始の計画を立てている。

上程議案の質疑より

担当の委員長が

10項目



ピックアップ

歳出

地域福祉センター 改修事業

▲963
万円

施設改修工事費

地域福祉センター「ハートピアみよた」の各室内設備等を改修するための工事費である。



問

工事費の総額と主な内容、963万円減額となった理由は。

答

総額は1,634万6,000円である。会議室カーペット張替え、ダイルーム流し台交換、自動ドア修理、障がい者用トイレ便座取換え、浴室脱衣所のブラインド交換をおこなった。

減額理由は、物価高を見込み高めに設定していたことと、設計業務を資格を持った職員が対応したためである。

支出

有収率の改善

880
万円

漏水調査委託料

有収率の悪化にともない、漏水を調査するものである。



問 漏水委託料について、どのような形で委託しているのか。

答 漏水調査業務である。他自治体と比較して有収率が低い時期があったため、5年に1回のサイクルで水系ごとに漏水調査をおこなう計画のもとに進めている。委託先は専門的な漏水調査業務をおこなう業者を選定している。

歳出

小学校体育館 冷房設置工事

2億2,553
万円

体育館冷房設備設置工事

教育現場における猛暑対策および災害時の避難所機能強化のため、南・北小学校の体育館に冷房設備を設置する工事である。



問 南・北小学校体育館の冷房設備は、中学校と同様に停電時にも対応できるものとなるのか。また、断熱工事の内容と工事費はどの程度を見込んでいるのか。

答 冷房設備は、中学校と同様に非常用電源で稼働可能な仕様である。
断熱工事については、天井部分への遮熱シート設置および窓への遮熱フィルム施工を予定している。工事費は、当初予算として約2,000万円を計上している。

歳出

将来的なごみの 排出量は

5,209
万円

新クリーンセンター負担金

佐久平クリーンセンターへ持ち込める御代田町の家庭系可燃ごみは、年間1,445トンである。



問 町では10年先まで人口が増加する推計としているが、ごみはどの程度の増加を考えているか。

答 一般廃棄物処理基本計画に基づき業務を実施している。分別の細分化により1人当たりの排出量は低水準で推移し、資源ごみは減少傾向である。

総排出量は、令和7年度と比べ令和12年度は減少する見込みである。

歳出

公共ライドシェア 実証運行延長

467
万円

公共交通実証運行委託料

自家用車を活用した公共ライドシェアの実証運行の委託料である。

令和8年6月末まで延長して実施する。



問 実証運行の実績と終了後の対応は。

答 令和7年12月1日から2カ月間の実績は、実施日数46日、利用件数255件、延べ利用者数310人で、1日平均5.5件の利用があった。ドライバー数や利用者数も増加しており、町民の移動手段として一定のニーズがあると認識している。

実証運行終了後は、町内部および公共交通活性化協議会で、町外利用の可否も含め今後の対応を検討していく。

歳入

ごみ袋の破れ対策

1,586万円

ごみ袋売払収入

可燃ごみ袋の破れやすさへの対応と、見直した場合の料金である。



問 ごみ袋が薄く破れやすいとの声への対応は。

答 可燃ごみ袋は他より0.05mm薄く、破れやすいとの声がある。厚さや形状の見直しについて審議会で検討する予定である。

問 審議会において形状や厚さが変われば値上げをするものなのか。

答 0.03ミリから0.05ミリ厚くすると1枚約2円、ロールあたり40円の増額となる。令和7年度予算の場合、年間約65万円弱の増額となるが、令和8年度は製作費の高騰からさらに増額となる見込みである。

歳出

町のPRイベントの開催予定と効果

148万円

会場等借上料

御代田町魅力発信事業として、ポットラック八重洲にてPRイベントをおこなっている。



問 8年度のPRイベントの開催予定と費用対効果は。

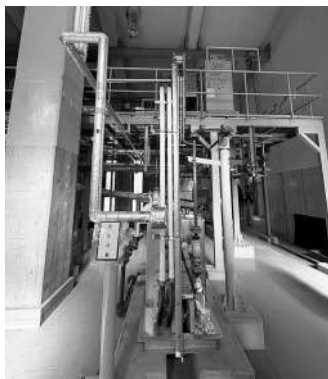
答 ポットラック八重洲で2回予定しており、6月と12月に各1回実施する見込みである。参加者がふるさと納税をおこなった事例や移住につながったケースもあり、効果は出ているものと考えている。

収入

下水道の配管状況と処理能力

3億7,586万円

下水道使用料



問 軽井沢町西側を御代田町の下水道に接続した場合、処理能力や配管の状況はどうか。

答 軽井沢・小諸・御代田の3市町の共同事業検討会で下水道の課題を協議している。御代田町の下水道は千ヶ滝湯川用水付近まで整備されており接続は可能である。再計算は必要だが、処理場も当時の計画では受入は可能である。

歳出

危険木伐採の支援制度を創設

300万円

立木伐採事業委託料

新たに設けられた危険木伐採のための補助制度である。



問 道路わきの立木が倒れる前に対応する考えはあるか。

答 個人所有の木を町の税金を使って切るのは不平等感があるため、森林環境譲与税を活用した新たな危険木伐採への補助制度を創設した。私有地や道路沿いの倒木リスクに対応し、費用の2分の1を補助するものである。

人権擁護委員の推薦につき
意見を求めることについて

関 久美子 氏

適任という意見を付すること
に決した

任期は

令和8年7月1日から
令和11年6月30日まで

中山 梨恵子 氏

適任という意見を付すること
に決した

任期は

令和8年7月1日から
令和11年6月30日まで



令和8年2月4日

令和8年第1回臨時議会 開催

全会一致の議案など

予算		
議案	令和7年度御代田町一般会計補正予算案（第8号）	可決
契約		
議案	令和7年度 国補 都市構造再編集中支援事業 東原西軽井沢線（2工区）電線共同溝工事 請負契約	可決
議案	令和7年度 国補 都市構造再編集中支援事業 東原西軽井沢線（3工区）電線共同溝工事 請負契約	可決
その他		
議案	浅麓水道企業団規約の変更	可決
報告		
報告	専決処分事項の報告（令和7年度御代田町一般会計補正予算案（第7号））	承認

次回定例会は6月1日開会予定

本会議の傍聴ができます。希望される方は、
議会事務局で受付してください。

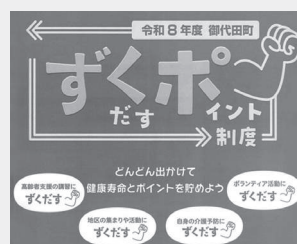
日程は決まり次第、町ホームページでお知
らせします。

こちらをスマートフォンで読
み取っていただくと、町ホーム
ページ「御代田町議会」のペ
ージに繋がります。



本会議の傍聴は**ずくだすポイント制度**の対象となっています。
65歳以上の方が対象となりますので、ポイントカードをご持参
のうえ、ぜひお出かけください。

※ずくだすポイント制度とは、ボランティア活動や自身の介護予防活動に
参加しポイントをため、ポイント数に応じて記念品や交付金を受け取る
ことができる制度です。詳細は町保健福祉課にお問い合わせください。





9人の議員が質問しました

一般質問とは、議員が町の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町に求め、適切な町政運営を進めているか議員がチェックするものです。

この議会だよりでは、◎の項目を議員本人が要約執筆したものを掲載しています。

やまうら ひさと
山浦 久人

P13

- ◎御代田町の土地単価について
- ◎コロナ禍を経て子ども達の現状は

もりいずみ しずお
森泉 謙夫

P14

- ◎水資源の保全について

こいど てつお
小井土 哲雄

P15

- ◎南北小学校の新校舎計画について

うちぼり あやこ
内堀 綾子

P16

- 町の業務システムについて問う
- 自治体システム、オープンソースなどを活用した公費削減対策は
- ◎国が示す自治体システム標準化20項目対応における町の現状と住民サービス及び職員職務の課題について

やまもと けさかず
山本 今朝和

P17

- ◎農業振興について

いけだ るみ
池田 るみ

P18

- ◎英語教育の充実について
- ◎男女共同参画社会の実現について
- ◎インフルエンザ予防接種について

いちむら ちえこ
市村 千恵子

P19

- 国保税の引き下げを
- ◎介護保険料の引き下げを
- ◎役場跡地の大規模開発の経緯と事業内容は

くろいわ あきら
黒岩 旭

P20

- ◎消防団 PR 動画作成事業について
- ◎地域コミュニティと公民館の役割について

あかた のりこ
赤田 憲子

P21

- ◎子どもの学びを支える学校の断熱・環境改善について
- ◎DX推進と業務改革 (BPR)、及び行政の危機対応について



やまうら
山浦 ひさと
久人 議員



YouTube
2次元コード

御代田町の地価公示の現状は

最大2.9%増、最大2.2%減

問 町における外国人の土地取得状態はどんな状態か。

答 **税務課長** 令和7年度における町の土地所有者数は、9千475件あり、このうち外国姓と思われる方は40件あまりである。

問 現在の町の土地価格は上昇傾向にあると聞きましたが、現状は。

答 **税務課長** 地価公示地点を例に比較すると、桜ヶ丘団地西側付近が2.2%の増で、JA小沼給油所付近が2.2%の減である。

南小学校南側付近が

2.9%の増で駅前付近が2.1%減となっている。

問 町の空き家バンクの現状は。

答 **産業経済課長** 空き家バンクの登録件数は累計で75件、成約件数は売買と賃貸

合計して55件である。補助金などの制度はどの様な物か。

問 補助金などの制度はどの様な物か。

答 **産業経済課長** 空き家バンク登録物件の売買成立時に、空き家所有者に不動産仲介手数料の2分の1

以内の額で、1件につき最大5万円を補助する制度である。

問 土地高騰の現状について、対策または規制はおこなっているか。

答 **企画財政課長** 国土利用計画法

では一定規模以上の土地取引については、土地取引の面積、売買価格などの届出義務がある。

コロナ後のメンタルヘルスは 不登校は小中で3.1%

問 コロナ禍を経て、不登校やメンタルヘルスの問題が、かつてない規模で増加していると聞きましたが、子どもたちの現状は。

答 **教育次長** 不登校になって

いる児童生徒は一定数あり、小中学校を合わせる約3.1%となっている。

問 コロナ禍の活動制限など、生活習慣の変化によって体力への影響は。

答 **教育次長** コロナ禍は子ども

ものの体力低下に影響を

学校の休校、外出自粛、部活動の制限などで日常的な運動量が減ったと言われている。

問 コロナの後、心の健康や社会的つながりが希薄になっている気がするが、再構築の必要性の考えは。

答 **教育次長** 教育委員会としても、変化する教育ニーズに対して学校と協力し、柔軟に対応していく。

自然豊かな御代田町。

水源保全は制度に限界があるが

豊かな環境を守ることが重要



もりいずみ しずお
森泉 謙夫議員

YouTube
2次元コード



問 法律において、地下水の直接規制が限定的である現状に対し、町の見解は。

答 企画財政課長 地下水保全への規定がある御代田町環境保全条例をより具体化し、住環境の確保と節度ある開発を期するための御代田町開発指導要綱は、その目的を達成するために、社会情勢の実態を把握し変化に対応するなど、時代の求めに応じた条例要綱でなければならぬ。

状況に応じて必要があるかと判断すれば、条例および要綱の改正について検討していく。

問 長野県の「豊かな水資源の保全に関する条例」では、県が水資源保全地域を指定し、土地の売買や所有権の移転、利用形態の変更などについて事前に届出を求める制度が設けられている。町は現在、水資源保全地域に指定されているか。

答 企画財政課長 町は水資源保全地域には指定されていない。

佐久地域においては、佐久市、南相木村、小海町の3市町村の水資源の一部が水資源保全地域に指定されている状況である。

問 水源の保全については、国、県、町いずれの制度にも限界があり、単独では十分とは言えない状況にあるが町長の考えは。

答 町長 水資源も含めこの豊かな環境をしっかりと

り守っていくことが重要であると考えている。現状では、御代田町環境保全条例や御代田町開発指導要綱により厳しく対策を講じているが、何らかの理由により、水資源を含む環境が害されてからでは手遅れである。

町としてリスクに対する対策をしっかりと整備しておくことが重要であり、御代田町環境保全条例などに違反した行為に対しては、断固たる対応をしていく。提起いただいた内容を踏まえ、国、県との連携や「水資源保全全国自治体連絡会シンポジウム」における多くの自治体とのつながりを活かし、しっかりと情報共有しながら、町として適切な対応を引き続き講じていきたいと考えている。



水源保全で自然の恵みを次世代へ！

新校舎建設、基金と今後の積立は



こいど 小井土 哲雄議員



YouTube
2次元コード

当初目標は令和24年度15億円

問 小学校は建設後、何年経過し、また児童数の推移は。

答 昭和三十二年に同時開校し、令和九年四月で50年経過する。

児童数は開校時2校あわせ890名ほど、昭和58年から平成元年の7年間は1千50名ほど、平成元年年度の1千55名をピークに減少し、平成17年度では842名で平成元年度比較で約20%の減少となった。

その後は増加傾向となり、平成24年度998名であったが、以降は多少増減はあるが減少傾向で推移し、本年度は両校で825名である。

問 長寿命化を目指してきたが、年度別の工事費は。

答 大規模改造工事は平成5、6年度に北小学校で約2億8千664万円、平成7、8年度に南小学校2億7千707万円を実施した。

耐震補強工事は平成21年度に北小学校で約934万円、南小学校は約3千244万円を実施した。再度大規模改造工事



網戸による涼風が必要な体育館。

を平成25年度に北小学校では約9千719万円、南小学校で平成26年度に約9千905万円を実施した。

そのほか毎年、修繕工事を実施している。

問 中学校建設時の基金総額・交付金額は。

答 建設着手前の平成20年度末の基金積立金は10億6千300万円であった。

金額は。

平成21年から23年度の中学校建設工事費は29億6千万円ほどで、国費が12億2千180万円、交付税算入のある有利な起債の借入が11億8千790万円、基金および一般財源が5億5千830万円であった。

問 新校舎建設に当たり、これまでの基金の状況と今後の積立については。

答 令和4年度は1億7千393万円、令和5年度は1億9万円、令和6年度は利息のみの180万円、令和6年度末時点での基金残高は2億7千599万円である。

当初の積立目標額は令和24年度の15億円としており、建設時期は未定であるが、多額の財源が必要となることから、町の財政状況にに応じて、今後も引き続き計画的に積み立てていく。



新1年生をむかえた開校50年の北小学校。

システム標準化で職員数想定は

職員数増減できるものではない



うちぼり あやこ
内堀 綾子議員



YouTube
2次元コード

問 自治体システム標準化20項目の活用状況は。

答 総務課長 就学・生活保護・児童扶養手当は、標準化以前から当町では利用していないため実装していない。

問 自治体システムの維持の見込みは。

答 総務課長 経費は合計8千157万円をデジタル基盤改革支援補助金で全額補助を受ける。

ガバメントクラウドが従量課金制変動で平均1カ月120万円程度見込んでいます。普通交付税措置が国

から示されている。

問 将来の職員数想定は。

答 総務課長 ベンダーロックイン解消と法改正などによるシステム改修費用軽減が大きな目的であり、業務効率化に資する対応ではなく、標準化で職員数を増減できるものではないと考えている。

システムが変わる中、窓口を抱える職員は業務的負担があったが、職員数を増やすことなく職員努力で対応してきた。



「不便益」と「便利」の狭間の窓口。

問 職員負担軽減と住民サービスを

考えコンビニ交付同様の窓口システム端末を役場に設置するほうが、書かない上に書類まで出力されるため職員と市民の利便性が高いと

思う。

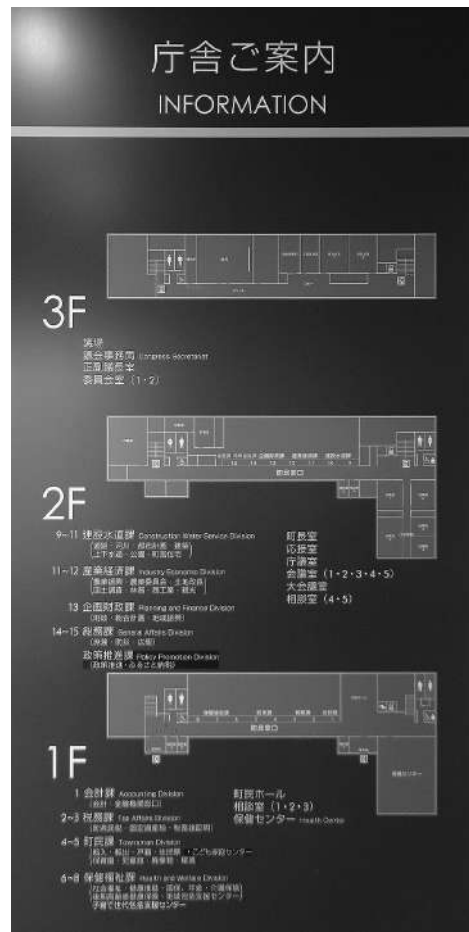
どの自治体も、あふれるように公費があれば、住民生活のサービス向上や自治体のさまざまなメンテナンス補修にも公費を使えるが、財源には限りがある。第6次御代田町長期振興計画での具体策は、

答 企画財政課長 5年後に目指す姿として、行政手続オンライン化と内部事務効率化を進め、市民の利便性の向上、職員の業務負担軽減実現・質の高い行政サービスを提供できる体制構築を掲げている。

問 国が進めるガバメントクラウド

への移行や自治体標準化について町長が思うことは。

答 町長 現場の実情と少し離れてしまう気もする。良さはあるが現場でこれはこうしたほうがなどバランスをうまく感じながら進めていく必要があるのではないか。



役場が担う本来の業務も多岐にわたる。



やまもと け さ か ず
山本 今朝和議員



YouTube
2次元コード

「土地改良区」の設立の考えは

産地として持続できる議論が必要

問 農業振興を進める上で、現状では衰退に歯止めがかからない。各地区の多面的機能組織を中心に土地改良区の設立は。

答 産業経済課長 「土地改良区」は大規模な農業基盤の整備を主目的で設立する公的な特殊法人で「共助の精神」に基づいて活動するものである。

農業従事者が減少の中で、出荷施設の集約などが必要となる。佐久浅間農業協同組合や町などで「将来にわたって高品質な高原野菜の産地として、持続できるよう議論を進め

る必要がある」と感じている。

問 持続可能な経営が続けられるよう、物価高騰支援の検討について町の考えは。

答 産業経済課長 町は農業者の熱中症リスクを低減し、農作業環境改善のため「農業者猛暑対策支援事業補助金」を実施する。

農業者が購入する「冷却機能付き作業服」などの購入に対し2分の1の補助をする。環境に優しい持続的な農業生産への転換を目的に「生分解マルチ」の実証実験を計画し、価格低迷と資材費などの高騰に苦しんでいる農業者のために、施策を検討していく。

問 労働力確保として、退職後に農業を始める中高年は、新規就農者の6割を占める。

従事し易くする政策をとればよいと思う。

担い手・労働力不足の支援策は。

答 産業経済課長 農業の農林業経営体数は5年間で23.2%と大幅減少している。

「就農準備資金と経営開始資金」を165万円に増額している。さらに「農業機械・施設」などの導入に対する補助について、新規就農者チャレンジ事業は49歳以下から65歳以下に変更となる。

申請時の事務手続は、職員がサポートする。

問 町長の考えは

答 町長 生産に不可欠な肥料や農薬・燃料・資材費の高騰により、生産コストが上昇している。大変厳しい状況と認識している。

国や県の政策支援制度を有効に活用していく必要性を強く感じている。高原野菜の産地として

て持続できるよう具体的な要望をする。



15品目に指定野菜になったブロッコリー。

オンライン英会話導入の見解は

学校現場と共有し慎重に検討



いけだ 池田 るみ議員

YouTube
2次元コード



問 GIGAスクール構想により児童生徒1人1台の学習端末が整備されている。オンラインマンツーマン英会話導入の見解は。

答

ICT化を進める中で個別最適な学習の観点からも検討して

教育次長

ICT化を進める中で個別最適な学習の観点からも検討して



学習端末の活用で授業が充実。

いかなければならない授業だと考えている。学校現場と共有をしながら導入について慎重に検討していく。

問

中学3年生の英語検定の補助の考えは。

答

グローバル化が進展する中で、実践的な英語力を身につけることは将来の選択肢を広げることに関わり極めて重要であると認識している。

今後は、補助の実施自治体の状況なども分析しながら検討していきたいと考えている。

第2次男女共同参画計画策定は

令和8年度に策定を計画

問 第1次御代田町男女共同参画計画が令和8年度まで、あと1年となっている。目標に対して進捗状況は。

答 企画財政課長

3つの基本目標の基本目標2では、審議会などの委員に占める女性の割合は、令和3年時点で18・9%、目標値は30%ということ。本年度4月には、30・4%になる見込みである。

今後、性別にとらわ

れることなく、あらゆる分野へ参画できる多様な社会の実現に向け取り組んでいく。

問 第2次御代田町男女共同参画計画策定の予定は。

答 企画財政課長

令和8年度に策定を計画している。策定にあたっては、町民

へアンケートを実施し、第1次計画の進捗の確認および第2次計画策

定に向けた基礎資料を作成する。

第2次計画では課題や新たに取組むべき事項を検討し策定をしていく。



国際女性デーシンボル「ミモザ」。

インフルエンザ予防接種へ補助を必要に応じて対応していく

問 高齢者のインフルエンザ予防接種の開始を早める考えは。

答 保健福祉課長

令和8年度は10月1日から早目、重症化予防に努める。

問 子どものインフルエンザ予防接種費用の補助の考えは。

答 保健福祉課長

さまざまな感染症の流行や近隣市町村の状況を注視し、必要に応じて対応していきたいと考えている。

役場跡地大規模開発の事業内容は

一戸建宅地分譲を民間業者が開発



いちむら ちえこ
市村 千恵子議員



YouTube
2次元コード

問

100区画できるが
行政区との関係

自然環境、住環境に配慮した町のモデルとなるよう一戸建宅地分譲を町の方針とし、民間事業者が実施している。

答

企画財政課長

東原西軽井沢線整備が予定され民間事業者の発想・企画力・業務実績・資金力による提案を募る公募型プロポーザル方式の売却を採用した。

問

旧役場庁舎跡地と周辺の大規模

開発は多くの町民が不安と疑問を抱いている。経過も含めた事業内容は。

答

企画財政課長

管理運営組合をつくり、栄町区になり区への加入も進めていくと聞いている。

問

開発中の道路整備や上下水道

の布設は開発補助の対象は。

答

建設水道課長

開発行為の計画地内に整備する道路と上下水道は、開発事業者の費用負担で施工される。

無電柱化計画は、国・町・開発事業者が3分



宅地開発進む旧役場跡地。

答

補助金は、1月末現在48区画2千400万円を交付し、旧庁舎跡地を含む周辺と一里塚地区の2地区117区画の補助金額5千850万円を見込んでいます。

問

開発後の下水道

や町道認定は。

答

建設水道課長

開発行為届出前に開発者と各施設管理者が協議をおこない、町基準の設計し、工事完了後は設計施工に問題がなければ帰属を受

けた後、町が管理していく。

問

周りにある土地の固定資産税は

上がる傾向か。

答

税務課長

大規模開発など

介護保険料の引き下げは

基金など活用し引き下げを検討

問

介護保険事業会計の見直しは。

答

保健福祉課長

第9期計画は、将来的な高齢人口の増加で利用者増を見込み介護保険を引き上げた。財政状況は、施設介護サービス費の落ち込みが要因で計画額を大幅

問

介護保険料は10期で引き下げの考えは。

答

保健福祉課長

介護保険基金や第9期余剰分を活用し、引き下げを検討していきたいと考えている。

の影響が評価反映されるのは令和12年度の評価替えからで取引価格が上昇すれば段階的に上がる可能性がある。



豊昇サロンの集いは元気の“源”。

消防団PR動画作成事業の目的は

より身近に感じていただくこと



くろいわ あきら
黒岩 旭議員

YouTube
2次元コード



隊列を組み行進する消防出初式。

問 消防団PR動画作成事業の委託内容と目的は。

答 消防課長 消防防災などに関する知識や、さまざまな情報を発信するPR動画を作成し、SNS

問 今後、消防団員確保と町の防災活動にどう生かしていくのか。

答 消防課長 従来の広報勧誘活動とあわせ消防団員の確保に向けた活動を展開し、消防防災に関する情報や町のPRなど幅広く情報提供していきたいと考えている。

問 地域コミュニティの醸成、地域づくりの活性化を促進させるためにも分館補助金の増額が必要と考えている。また分館実施事業へ現状の補助金制度とは別枠で、支援金、負担金、協賛事業費といった追加支援があっても良いのではないか。町の考えは。

答 教育次長 分館補助金については、活動の実態に応じた補助金額の見直しを前向きに検討していきたいと考えている。また補助金とは別枠での追加支援については、話もあつたことから状況などをしっかり把握した上で、今後検討していく。

問 地区ごとに受け継がれてきた伝統行事や文化活動も、地域のつながりがある。



会話も弾むマレットゴルフ大会。

分館補助金の増額を前向きに検討していきたい

てこそ次世代へ継承され、町の魅力として将来へつながっていくものと考えている。

地域のつながり、地域コミュニティの必要性について、町長の考えは。

答 町長 研修体制の充実というありがたいご指摘である。

コミュニティを守っていく、育てていく、発展させていくことについて、研修の充実には必須だと思うので、これにともなう予算を含めて、私がしっかり予算をつけていくことで、これまでになりに取り組みをして、コミュニティやコミュニティ活動に対して、しっかりと注目していただけるような環境づくりをしていきたいと思う。

小学校校舎の断熱対策は

さまざまな方法が考えられる



あかた のりこ
赤田 憲子議員



YouTube
2次元コード

問 小学校校舎の断熱対策について、令和8年度における断熱工事に関する具体的な計画、または検討を進める予定があるか。

答 **教育次長** 小学校体育館へのエアコン設置については、令和8年度一般会計予算に計上し、屋内で児童が熱中症の心配なく運動ができるよう、また災害時の避難所としての機能強化を図るため、断熱性能確保工事とあわせて実施する計画である。

校舎については、令和8年度に各教室に設置されているエアコンの内部清掃を計画して



小学校体育館の冷房設備設置が進む。

いる。断熱性能の確保については、大規模な工事以外にも、遮熱塗料の塗装、窓への遮熱フィルム、遮熱カーテンの設置など、さまざまな方法が考えられることから、調査・検討をしていきたいと考えている。

業務フローの整理や見直しは 窓口体験調査を実施した

問 書かない窓口の導入にあたり、現在の窓口業務について、業務フローの整理や見直しはどの程度進められているのか。

答 **総務課長** デジタル庁の窓□BPPRアドバイザー派遣事業の支援を受け、職員が来庁者役となり、転入やお悔やみなどの手続を行う窓□体験調査を実施した。業務フローは大きく変えず、書かない窓□システム

問 課をまたぐ手続や二重入力、確認作業など、職員の負担となっている業務の見直しや改善の具体例は。

答 **総務課長** 窓□BPPRアドバイザーの支援を受け、

で入力した内容を基幹系システムに反映できるものを選定し、同じ情報を入力する手間を削減することで、現行フローの工数を簡素化できればと考えている。

課を横断するライフイベントに関する手続きについて、北海道北見市などの手続き一覧ひな形を提供していただき、町に適した手続き一覧の作成を進めている。お悔やみ手続きに関しては、作成が完了している。

転入、転出、出生などについても、書かない窓□実装時に活用できる手続き一覧を作成することで、必要な手続きを聞き取る際にも活用できるものと考えている。



書かない窓口に向けた業務見直し。

行政視察報告

【広報広聴常任委員会視察】 令和8年1月19日

下諏訪町議会

委員長 内堀綾子

視察
目的

実務的な工夫や運営体制を学び、当町の議会広報・広聴活動の質の向上をはかる

下諏訪町『議会だより』は雰囲気をもくもくするために、中ページの色彩にも気づきがあり、全体が優しさのあふれる紙面となっていました。

広聴機能としては『議会だよりモニター』制度も活用し、議員だけの意見にとどまらず、広く聴く事も重視していた点は、私たちの議会だよりにも必要な視点だと強く感じながら、学びの多い視察となりました。

また、下諏訪町には『龍の尾』、御代町には『龍の頭』があり、ともに龍神伝説のある不思議なつながりも感じました。



【町民建設経済常任委員会】 令和8年2月2日～2月3日

茂木町役場（栃木県）、高根沢町役場（栃木県）

委員長 森泉謙夫

視察
目的

ゼロカーボンへの先進事例を学ぶ

茂木町 廃食用油や落ち葉など地域資源を活用した循環型の取り組みについて説明を受けました。資源を地域内で循環させる仕組みや、住民・事業者が参加しやすい体制づくりなど、持続可能な運用に向けた工夫がなされており、地域の実情に応じた取り組みの重要性を学びました。

高根沢町 ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みについて説明を受けました。専門人材の活用や補助制度の導入により、民間も含めた推進体制が構築されており、継続的な施策展開の重要性を認識しました。



茂木町内から集められた落ち葉の集積場。

【総務福祉文教常任委員会視察】 令和8年2月2日～2月3日

寄居町役場（埼玉県）、中井町役場（神奈川県）

委員長 赤田憲子

視察
目的

令和8年度に本町で導入予定の「書かない窓口」について、誰にでも優しい窓口とするため、先行自治体の取り組みや課題を学ぶことを目的に視察を行いました。

寄居町では来庁者自身が端末を操作する方法、中井町では職員が内容を聞き取りながら手続きを進める方法が採られていました。高齢者や記入に不安のある方にも安心して利用していただくには、職員が丁寧に対応する方式が有効であると感じました。一方、導入当初は業務の増加も想定されるため、無理のない運用が重要であることを確認しました。



研修報告

令和8年1月15日

北佐久郡議会研修会
(軽井沢町・立科町・御代田町)

『質問力を高める 議会力にいかす』

講師 法政大学 法学部教授 つちやまき みえ 土山希美枝氏



令和8年1月20日

議会運営委員会研修会：議会運営委員会委員
「町村議会実態調査結果の概要」「地方議会の運営について」



令和8年1月21日

佐久市・北佐久郡議会合同議員研修会
(佐久市・立科町・軽井沢町・御代田町)

令和8年1月30日

浅麓地域議会議員懇談会
(小諸市・軽井沢町・御代田町)

動画配信中!

Youtubeの御代田町議会チャンネルでは
議案質疑や一般質問など本会議の様子を動画で配信をしています。

ご視聴、チャンネル登録をお願いします。

動画
配信中!



3月定例会
開会日①



3月定例会
開会日②



3月定例会
議案質疑



3月定例会
閉会日

くぼ なおゆき 久保 直行さん・ふみよ 富美代さん



「いつか空気の綺麗な場所で」と憧れていた私たちは、大好きな軽井沢を訪れるたび、家族で移住の夢を語っていました。

そんな折、東京の自宅が予想外に早く売却。急ぎ住まいを探す中、コロナ禍で内覧できたのはわずか二軒でした。その一軒が、今住んでいるこの家です。

まるで何かに導かれるように決まった御代田での暮らしですが、地元の方々の温かい交流に支えられ、心から感謝の日々を過ごしています。



MIYOTA
みんなの声

町のみなさんの声をお届けします

さくら い 桜井 みさをさん



時代の流れとともに進化する町の催しを、いつも楽しみにしています。昨年12月、駅前広場のイルミネーション点灯式に、友人に誘われ出かけました。おにかけうどんのおいしそうな匂いに人々が集まり、商工会の男衆が忙しそうに作る姿に感動しました。子どもの頃から親しんだ味、具材も豊かでおいしくいただきました。

御代田の味、おにかけうどん。食材や道具ではなく、それを振る舞う温かな心と変わらぬ味に、感謝の気持ちでいっぱいになりました。



表紙の写真

しゃくなげ公園まつり

4月18日に開催されたしゃくなげ公園まつりは、天候にも恵まれ見頃のしゃくなげの花と桜の花が、来場者を迎えてくれました。

また、コカリナなどのステージ発表や飲食屋台村もあり、来場者の皆さんは楽しいひと時を過ごされていました。



編集後記

浅間山麓に吹く北風が去り、新緑のさわやかな季節となりました。町民のみなさまには、お忙しい日々かと思ひます。

3月定例議会だよりをお届けします。

定例議会では、令和7年度の補正予算、8年度当初予算案を審議し、承認可決しました。

御代田町の発展のために、みなさんのご意見、ご提案をお寄せ下さい、お待ちしております。

徳吉 正博

広報広聴常任委員会

委員長 内堀 綾子
副委員長 市村 千恵子
委員 池田 るみ
徳吉 正博
山本 今朝和
赤田 憲子
森泉 謙夫
千葉 信一